

クワシロカイガラムシの有効積算温度（5月11日時点）

クワシロカイガラムシは、多発すると茶株を枯らすこともある茶の重要な害虫です。

クワシロカイガラムシの第1世代の孵化時期を推定するため、場内茶樹の樹冠内に設置した温度データからクワシロカイガラムシの有効積算温度を算出した結果、5月11日時点で214日度となりました。

クワシロカイガラムシは、有効積算温度で287日度に達すると孵化最盛日を迎え、その後孵化した幼虫が定着するまでの3～4日間が防除適期とされています。

仮に、今後毎日7日度積算すると仮定すると、5月22日に287日に達すると考えられます。

クワシロカイガラムシ防除のポイントは、薬剤の散布量を多くし（1,000L/10a）、薬剤が樹冠内部までよく入るように防除することです。幼虫の孵化最盛期を狙って重点防除しましょう。

